

大分工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	歴史学特論
科目基礎情報						
科目番号	R04AG1001			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	専攻科一般科目			対象学年	専1	
開設期	後期			週時間数	2	
教科書/教材	毎回レジュメや資料を提供する。					
担当教員	田中 美穂					
到達目標						
(1) 現在の世界にも継承されているヨーロッパの宗教や文化について知識を得る。(定期試験) (2) 戦争や地域紛争が起こる背景やしくみを歴史的に理解し、これらを克服する方策について考える。(定期試験) (3) グローバル化が進む現在において、世界の国々や人々が平和共存するための課題について考える。(定期試験) (4) 講義内容から選んだ歴史的なテーマについて考え、論述する力を身につける。(定期試験)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ヨーロッパの宗教や文化について理解力が高い。		ヨーロッパの宗教や文化について理解力がある。		ヨーロッパの宗教や文化について理解力がない。	
評価項目2	戦争や紛争が起こる背景や仕組みについて理解力が高い。		戦争や紛争が起こる背景や仕組みについて理解力がある。		戦争や紛争が起こる背景や仕組みについて理解力がない。	
評価項目3	世界の国々や人々が平和共存するための課題について理解力が高い。		世界の国々や人々が平和共存するための課題について理解力がある。		世界の国々や人々が平和共存するための課題について理解力がない。	
評価項目4	歴史的なテーマについて論述力が高い。		歴史的なテーマについて論述力がある。		歴史的なテーマについて論述力がない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 (A1) JABEE 1.2(a)						
教育方法等						
概要	ヨーロッパを中心に、前半は前近代の歴史、後半は第一次世界大戦以降の現代史について講義する。前半では、ヨーロッパ世界の宗教や文化について理解を深め、後半では、20世紀以降に世界各地で起こった戦争や地域紛争の背景にある歴史を学んでいく。EUという強固な地域共同体連合を世界に先駆けて成立させ、戦争の克服に努めて平和共存を模索してきたヨーロッパの歴史に注目しつつ、変貌し続ける現在の、そして未来の世界について考えていく。 (科目情報) 教育プログラム第3学年 ◎科目					
授業の進め方・方法	到達目標の(1)～(4)について、授業計画に従って、基本的に講義によって進めていく。参考文献については毎回、授業で紹介する。 (事前学習) 世界史の内容をヨーロッパ史と現代史を中心に復習し、新聞やニュースで時事問題に触れること。参考文献については、毎回授業で紹介する。					
注意点	(履修上の注意) 講義中に話す内容について、各自でしっかりノートまとめをすること。 (自学上の注意) 復習をしっかりすること。					
評価						
(総合評価) 総合評価＝定期試験の点数 60点以上が合格 (再試験について) 定期試験が60点未満の者には再試験を行うことがある。この場合の実施方法、条件などは授業において明示する。						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	古代オリエント世界		古代オリエントと旧約聖書の世界について理解できる。	
		2週	古代ギリシア・ローマ世界		古代ギリシア・ローマと新約聖書の世界について理解できる。	
		3週	修道院の生活		修道院の歴史と修道院での修道士たちの生活について理解できる。	
		4週	中世の都市		中世ヨーロッパの都市の商業活動、都市で暮らす人々について理解できる。	
		5週	聖地巡礼		サンチャゴ・デ・コンポステーラ巡礼について理解できる。	
		6週	第一次世界大戦		史上初の世界大戦と社会主義国家ソ連の誕生について理解できる。	
		7週	第二次世界大戦(1)		ヨーロッパ戦線、ナチスとヒトラー、ホロコーストについて理解できる。	
		8週	現代世界の諸問題(1)		2回にわたって時事問題について取り上げる。	
	4thQ	9週	現代世界の諸問題(2)		2回にわたって時事問題について取り上げる。	
		10週	第二次世界大戦(2)		アジア・太平洋戦線、原爆投下をめぐる議論について理解できる。	
		11週	パレスチナ問題		ユダヤ人の歴史と現代のパレスチナ情勢について理解できる。	

		12週	ドイツの統一とロシア	東西ドイツの統一に関する歴史，ロシアの現代史について理解できる．
		13週	9・11事件とイラク戦争	イラクの歴史，アメリカ同時多発テロ事件とイラク戦争について理解できる．
		14週	E Uとさまざまな国際機関	E Uの歴史や分裂の危機（Brexit），世界の国々や人々が平和共存するための課題や取り組みについて理解できる．
		15週	後期期末試験	目的・到達目標（1）～（4）
		16週	後期期末試験の解答と解説	試験の見直しと確認ができる．

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0